

報告書執筆要領案

日本交通政策研究会では利用者の利便性の向上、経費節減のため調査・研究成果である日交研シリーズを電子ファイル化する取り組みの第一段階として、日交研シリーズ要旨をホームページに掲載するとともに、2009年度以降の報告書をすべて収録したDVDを制作・出版しています。今後は、報告書全体をWebで公開する方向で、現在、著作権規程を見直しています。

つきましては、平成31年度研究成果はWebサイト公開を前提に、以下の要領に基づき作成くださいますようお願いいたします。原稿中での他者の著作物の使用にはこれまで以上にご注意ください。

記

1. 内 容

交通政策に関する諸問題について、学際的な観点から総合的に調査・研究を行い、各種交通政策の発展に寄与することにより、もってわが国のより安全で環境にやさしい持続可能な交通社会の実現に貢献するという本研究会の目的に沿った内容であるとともに、「事故または災害の防止」、「地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備」、「国土の利用、整備又は保全」、「地域社会の健全な発展」という公益目的事業における観点が含まれた内容とする。

2. 体 裁

A4判用紙を用いて、原則として33行×41字の範囲内(余白:上30mm、下30mm、左27.5mm、右27.5mm)に印字すること。(報告書フォーム参照)

3. 原稿分量

- ・原稿枚数は、原則200枚以内とする。
- ・概要は、報告書の内容を説明するものであり、分量は原則1枚とする。
- ・概要には、3つ～6つのキーワードを挙げ、英文と和文で記入すること。

4. 原稿の構成とレイアウト

別紙を参照すること。

報告書フォーム(本文および要旨)をダウンロードし、原稿をコピー・ペースト(貼付)すること。

5. 著者の義務

報告書を執筆する上で、他者の文献等を引用する際には他者の著作権を侵害してはならない。また、報告書内において特定の個人や団体を誹謗中傷してはならず、かつ、商業的・政治的・宗教的な意図を持って執筆した原稿を投稿してはならない。

原稿の構成とレイアウト

1. 構成

数式、図表中の文字も含め、ワープロ・タイプによる原稿を提出すること。

2. 文字

文字種は、和文：MS 明朝／英文：times roman、大きさは 11 ポイントとする。

3. 本文表記

- ・各章タイトル…○章 (15 ポイント／MS 明朝) センターリング、タイトルと節の間 2 行アキ
- ・節タイトル…○.○ (半角) 12 ポイント (和文：MS ゴシック／英文：Ariel)、
左合せ (字下げなし)、段落前：1 行、段落後：1 行、節と節の間は 2 行アキ
- ・項タイトル…○.○.○ (半角) 11 ポイント (和文：MSP ゴシック／英文：Ariel)、
左合せ (字下げなし)、段落後：0.5 行アキ

4. 図表表記

- ・完成した図表を配置した完全版原稿を提出すること。
- ・カラー図表を用いる場合もモノクロで判別できるようにすること。
- ・図表等は説明責任のある文字の大きさは、最小でも文字の高さが 2mm 程度で作成するように努められたい。
- ・図表は、本文中に挿入するか、図表挿入の箇所を提示する。
- ・表タイトル…表の上に挿入、文字サイズ：ゴシック 10.5 ポイント
例) 1 章の 1 番目の表は、表 1.1 となり、順に表 1.2、表 1.3 と表示する。
- ・図、写真タイトル…図の下に挿入 文字サイズ：MS ゴシック 10.5 ポイント
例) 1 章の 1 番目の図は、図 1.1 となり、順に図 1.2、図 1.3 と表示する。

5. 脚注表記：同一ページ内の下に挿入 文字種：MSP 明朝 サイズ：10 ポイント

6. 参考文献表記：章末記載 最後の文章 3 行アキ、その後に参考文献を挿入
<参考文献>

1)○○○○ (西暦年号)「論文名」、『書名、雑誌名』、第○号、pp.○○～○○

2)Armstrong,M (1988)

ハードカバーの場合～書籍タイトル：イタリック体、

雑誌の場合～“論文名”，雑誌タイトル， vol. No. pp.○-○